

# 琉球大学学術リポジトリ

## 米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 米・琉球関係者内話

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43211">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43211</a>

昭和四十五年

ソカ  
ヒ  
万大  
博阪

外政草外政官  
務務 典房  
次次  
臣官官審審長  
儀總人電厚計  
儀書文會營給

國資參顧企  
長領移  
長參領旅移

ア参地中東  
長北東西  
米北北保  
中南審  
歐參西東洋  
長西

近参書近ア  
長總經國方  
參賀統國  
參政技二國一理  
系參參協規  
長國參政經科  
長軍社專  
長參道內外  
文長

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(T A) 470  
70年1月6日21時30分 米国発  
70年1月7日11時45分 本省着

外務大臣殿 下田 太使 臨時代大使 総領事 代理

オキナワ返かん協定交渉(内話)

第1ク号 極秘 至急(ゆう先処理)

6日フイン日本部長は往訪の本内に次の通り述べた。

1. 共同声明後多くのさい日をはさんで作業は進展をみなかつたが、来る12日より3日間ナハで国務省フイン、マツケルロイ、国防省ドウーリン、シーツ、陸軍省フレイマス、統参エプス、ネーシー在京大使館スナイダー、カーチス少将その他在日米軍、CINCPAC、USCAR等よりの出席者とともに、ランパート高等弁務官し会の下に検討会議を行なうので、ばく然たるピクチュアがかなり具體化することを期待している。15日より17日まで東京に滞在するので、本件検討会議の結果については日本政府関係者とじゅう分打合せを行なうこととした。

2. 本件検討会議の議題は第1日目オキナワ返かん協定、その起草担当の問題、在オキナワVOAの処ぐう、リュウ政への行政権の移管、第2日目地位協定のオキナワへの適用問題、(労働問題、第三回人の取扱問題)、在日米軍と高等弁務官との関係、第3日日在オキナワ

外務省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ナワ米軍施設の移転、防衛責務の日本側への移管の問題等につき討議することとなつてゐる。

3. 本件会議にのぞむ詳細なブルー。プリントは持ち合せておらず、国務省を除く関係者の態度はしん重、ひかえ目である。山野局長の「サトウ・ニクソン会談後のオキナワ施政について」の私案ペーパーを検討したが、国防省等軍関係者は右を時期しよう早とみており、容いに日本側のテンポとかみ合いそうもない。準備委員会設置のための交換公文の案文らしきものは用意したが、なおその機能につき、すなわち準備委員会は(日米協議委員会の下で)、りゆう政と関係の深い一体化の推進方策の検討を主として手がけるのか、そして地位協定の適用、請求権の処理、その他原則的返かん協定交渉は例えば外務本省と在京スナイダー公使との間で行なわれるのか、どうもそのターム・オブ・レフアレンス、東京と現地との具体的関係が判然としないので弱つている。なお日本側は準備委を2月初めにでも事実上設立することを目標とされているが、米側のテンポはそれよりもおそらく、早期始動のためには日本側とさらに打合せを行なう必要があり、また米軍部側として納得のゆくプレシャーをかけてもらう必要があろう。

4. 陸軍省シエナ次官代理の後任発令は未だ決裁まちで、その遲延に困わくしている。

外務省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

5. 今後オキナワ問題に関連する種々の決定（労働問題、布告の改廃その他）につき日本政府側として前広に承知し、内容によつてはじゅう分相談できる余ゆうがほしいとの希望は国務省としてはツトに承知しており。そのように心がけてゆくつもりである。しかしながら実際問題としては本件権限が国務省に止まらず、国防省にまたがつており、その国防省とて本国と強力な現地とに分れており、問題が起つたときに容いに調整がつかないまま表に出てしまうこともある。不測の誤解を避けるため日本側との事前連絡はじゅう分にはかつてゆきたい。

6. オキナワ援助予算は対外援助法案がペンドイングのため結論が出ていない。しかし復活が認められて本年度に関する限りこれが改めて大はばに削減されることないと期待している。7/1年度は4.5百万ドルをお考えいただきたい。

7. 1月26日から基地整理に関するサイミントン小委員会がオキナワの問題をとりあげる。台湾が2日半で討議を了し、またオキナワの次には2月2日から問題のペトナムをとりあげる予定となつてゐるので、オキナワ、日本の基地問題は2.3日位で終るであろう。同小委員会に対してはできるだけ機密文書のアクセスを認めることにしているので、実体をよくはあくしており、その取扱いはやつかいである。たゞしオキナワ返かんについて異論をとなえているわけではなく、むしろ基地整理、経費の削減という観点に多大の関心を有しております。日本としてはオキナワ関係予算の削減、日本への早期かた代り要請の面で関係があろう

外務省

万太  
傳助  
シカヒ

大臣官房外國局  
次長 次次  
官房審議長  
機密入電厚計  
儀書文会営給

國資 参謀企  
交 領移  
長 參謀旅移

ア 参地中東  
長 北西  
米 參北北保  
東 參北北保  
中 參一二  
南 參一二  
歐 參西東洋  
長 西北

近 参審近ア  
ア 參經國方  
長 參資統三  
經 參政技二  
協 參一理  
參 參條規  
長 參政經科  
國 參軍社專  
長 參道内外  
情 參兵文  
長 一二

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

ケ13

総番号(T A) 2422  
70年1月20日2時09分 米国  
70年1月21日1時25分 本省 着米北1  
主 管

外務大臣殿 下田(天使) 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題等(内話)

第148号 極秘 至急(ゆう先処理)

往電第17号に関し

20日フイン日本部長はキウチに次のとおり述べた。

1. オキナワの帰途日本に暫時立ち寄つたが、たまたま成人の日と重なつたためえん慮して外務省幹部には会わなかつた。

2. 1/2日から3日間に及んだナハでの米側準備会議は短時日、広はんにわたつたため、十分整理されるに至つておらず、混とんとして具体的にどう説明してよいかわからぬ。軍関係者多数が出席したが、彼等は返かんの事実につき別に落たんしておらず、協調的であつた。表面的には少くとも失望のいろをみせていない。

3. 既に準備委員会設置のための交換書簡案の起草に入つてゐるが、これは難しい問題ではなく、来週には案文につき在京大使館に訓令できると期待している。おそらく、返かん時まで本件起草が残された最期の容易な問題で、右より後はすべてやつかいな作業ばかりとなろう。

外務省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

極秘

4. 今後の日米交渉において出先きの中心人物はスナイダーパークとなるが、一体化に関連した分野はナハの準備委員会で、地位協定の適用については東京で、カーチス少将、ウォーフル大佐に在日米軍が加わって行うこととなるべく。いずれにしても今次ナハゼの会議にもかかわらず、すべてばく然としており、準備委の初会合を開催してゆくことによつてピクチャーが段々に定まってゆくほかないと思っている。

5. 全軍労のストライキは困った問題だが、米側としてはるい次申し上げているとおり、解雇预告期間の延長はなんとかなり得ても、金せん支出を伴う増額は遠かんがらどうすることもできない。予算削減のためのかぜ当たりは国防費にむかつて強く、特にそのうちの人件費に指向していることは御承知のとおりで、かかる情況下において、世界各地における米軍基地中オキナワのみを特別扱いするわけにはどうしてもゆかない。

日米共同コミュニケ後議会は休会に入っていたが、昨日再会されたため、せん維の問題等と相まつてオキナワでのストは議会筋に好印象を与えないことは事実で、今後の日米交渉の取扱いにも悪影響を及ぼしはしないかと懸念する（当館注）。全軍労ストは当地ラジオ等で可成り報道され、オキナワを返してもらうことになつた上にむしがよすぎると

— 2 —

外 務 省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

極秘

の印象を一般に与えており、今後この種問題が激化すると米与論はわが方に不利となるおそれがある。）。

6. 目下26日より3日ないし5日間開催のサイミントン小委員会に提出の資料作成はどうさつされている。既に述べたとおり、同委員会はオキナワ返かんには決して反対ではないから、日本側としては大して支障を感じられるものは思わないが、米側事務当局としては種々の作業をつじつまを合わせて行なわなければならないので、甚だ面倒である。証言にはジョンソン次官、スコット・ジョージ参事官、ランパート中将、ページ空軍中将、マギビー在日米軍司令官その他将官若干名が出席することになつており、ランパート等は既に帰国している。

7. ニクソン大統領の年頭教書は、キャンプ・デーヴィッドにこもつて彼自身が直接起草しており、日本部に関する限りなんら極秘にあつかつておらず、遠かんがらどういう内容か説明する立場はない。しかし、今次年頭教書の主がんは内政にありといふべく、外交問題は中国、東南アジアにつきセンセーショナルにならずに言及されるであろう。日米関係に言及するとすれば、オキナワ返かんの方針を明確にしたことは日米関係上好しいこと。今後は東南アジアでの日本の経済協力を期待すること等があげうるべく、せん維問題を特定してとり上げることはないと思う（当

外 務 省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

極秘

館注。今回は外交問題は年頭教書と切りはなし。S T A T E O F THE WORLD MESSAGEとして。  
後日議会に提出される旨新聞は報じている。)。

(3)

(12.5.20 主管課に手交渉、電信課)

極秘

ソカヒ	万太郎
大政事外外務官 務務典房	
次次 臣官員審査長 儀総人電厚計 供給文会當給	
國資 參調企 長 領移 參領旅移 長	
ア南地在東 曼 北東西 參北北保 中 南 參 歐 參西東洋 長 西東	
近 參審近ア 宣 次第經國方 長 參資統國 政 國一理 參 參 國 參 參 國 參 軍 軍 參道内外 長 文 長 二二	

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 33608 主管  
70年7月7日21時35分 等 1 番着  
70年7月8日11時06分 本省着 時化1

外務大臣殿 下田(大使)臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ返かん交渉等日米関係(下院議員内話)

第2068号 極秘 至急

客年往信政第6884号に関し  
ク日ベトナム下院議員(民主、軍事委員会、ニューヨーク)はキウブに次のとおり述べた。なお同議員は客年11月20日総理訪米中に米国行政はオキナワ返かん問題について立法院と協議すべきこと。日本は返かんにかんがみ自衛力を増強すべきことを議会に提案しており。また、よる21日の総理のプレス・クラブ・ランチョンに列席した知日派議員である。

1. オキナワ共同宣言以後の日米関係の推移に関しては、せん維問題をのぞけばおおむね順調と思う。防衛努力の増大、東南アジアへの経済協力につき日本が何処までやつてくれるか未知数であり。今後の実績にまつはかないが十分に期待している。

2. せん維問題は不幸な結末であった。これがどのような不測な悪影響を及ぼすか時期しよう早で判断のしようがないが、ハングオーヴァーなどといわずに妥協の途がひらく

外務省

極秘

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。

れることを期待する。

3. 日本が軍国主義にはしないのではないかとするウォルフ下院議員の報告は明らかに選挙目当てのものであるに足らない。自分と同じ軍事委員会のメンバーであるパーク下院議員はウォルフに同行したというだけでウォルフと同様に考えているようなことはない。東南アジアを視察したモンゴメリーワーク下院議員の一行が日本を警戒がいはずとの趣旨のことその報告書において触れたというがそれは承知していない。米国が必要以上に日本を警戒するとかえて日米関係にひびを入れることとなる。同行も主たる関心事は東南アジアにおける情勢にかかっているところ。東南アジアにおいて日本商品が多いのにびっくりして対日警戒心(うんぬん)ということになつたのではないかろうか。米国議員の発言に耳を傾けられる必要はないと思う。

4. 昨年11月末、国務省係官と共にイシハラ議員の訪問を受けたところ。同議員が日本の核武装に積極的であるとの印象を受けた。左より勢力の維持しかきかないおりからしゆんき異の觀を受けた。かかる右よりの思想は極左をバランスする上では意味があるのかも知れない。

5. オキナワ交渉の動向についてはこれがちよについたばかりのためである。軍事委員会は未だ国務省等行政政府か

外務省

極秘

注 意

- 電信写
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
  2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。

らのブリーフなどは受けていない。同委員会としては、米軍の基地がまちがいなく有効に維持されると思い込むことができるのであれば、大統領の返かん方針に異存はないと言つた感じである。議会が本件につきどのような態様で相談にあづかるべきかは上院、下院、あるいは委員会如何によつてそれぞれ異なるが、この問題は今後の日米交渉の進展ぶり、あるいはそのときどきの国際情勢の推移如何によつてヨーロッパを異にしうると思う。先月は予備選挙、この11月には中間選挙でやつくりできないが、十分日本側と連絡を密にして御相談にのりたい。

(3)

-3-

<p style="text-align: right;">機密</p> <p>ジカヒ ノハ 博阪</p> <p>大政事外機官 務務 次次 臣官官審審長 儀儀人電學計 儀儀文會會營營</p> <p>國資 參調折企 長 領 移 參領旅移</p> <p>ア 參地中東 長 北西 北 參北北保 中 參一二 南 參西東洋 長 近 參資近ア 長 經 次總經國万 長 參貿統國 經 參政技二 國一理 參 參規 長 國 參政經科 長 單任專 長 參道内外 文 長 一二</p>	<p style="text-align: center;"><b>注 意</b></p> <p>1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。</p> <p>電信写</p> <p style="text-align: right;">322</p> <p>總番号(T A) 33610      主管 70年月7日21時45分 11発着 70年7月8日11時11分 本省着</p> <p>外務大臣殿、 下田(大使)臨時代理大使 謝領事 代理</p> <p>日本部長の内話</p> <p>第2069号 機密</p> <p>チバ課長へ キウチより</p> <p>7日アイン日本部長は次のとおり述べた。 はなはだ断べん的なるもなんら御参考まで。</p> <p>1. 5日付NYTはナハ船とし、カアナの指揮官マーブル大尉は基地を維持存続せしめる關係上学校等の施設を抜きゆうするほかC-15搭着の施設を構ちくするとの記事(テキスト空送した)を掲載しているが、此の記事はこまかい情報を寄せ集めただけで、目新しい方針を米軍が策定したわけではない。米軍が基地をこうきゆう化しようとしているとは書いておらず、や張り自衛隊による部分的かた普りを期待しており、その場合には所要の施設を明け渡す方針である。 C-15の搭着設備を構ちくすることにより韓国あるいはオキナワの米軍を大はばに減らすことにはならない。しかし、オキナワが現在以上にC-15をはじめとする輸送のちゅう経基地化することは事実であろう。</p> <p>2. 海ていケーブルについてはその後も先例収集に努め</p> <p style="text-align: right;">(3)</p>	<p style="text-align: center;">機密</p> <p>外務省</p>
---	---	--

		*秘密標準（赤色）
昭和45年7月10日(米北1)		
<p>沖縄復帰準備委員会日本側事務局 賀陽参事官殿</p> <p>千葉北米米課長</p>		
(件名) 沖縄問題に関する米下院議員及び日本部長の内話 12月11日		
引用公・電信 日付・番号		
<p>沖縄返還交渉等日本関係（下院議員内話）（米東電第2068号）及び「フィン日本部長の内話（米東電第2069号）を参考までに別添</p> <p>各1部送付けます。 (略)</p> <p><del>(米東電第2068号は、理賃議員に対する評価と合意で、同内話はそれと比較微細な点を含んで</del></p>		
<p>※ 付属添付 <input checked="" type="checkbox"/> 付属空便（行） <input type="checkbox"/> 付属空便（D P） <input type="checkbox"/> 付属船便（貨） <input type="checkbox"/> 付属船便（郵） <input type="checkbox"/></p>		
GA-2-1 外務省		

113ので、その取扱いには十分御注意願

います。

GA-4

外務省

ソカヒ  
万次博謙

大政要外事課官

務典房

次次官宣達審査長

前総人電厚計

機密文書當給

表

国資

参議院企

長領

移長

參議院移

外務大臣殿

参地中東

東北西

米長

参北北保

中南

参一二

歐

参西東洋

西東

夏

参

ア

参舊近ア

長羅

次總經國万

長經

參貿統三

參攻技二

國一理

參

參政院親

長國

參政經科

長軍社專

情長

參道内外

文長

一二

### 注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

535

電信写

総番号(T A) 34769

70年7月14日21時00分

70年7月15日10時14分

米國

本省

米北

着

主管

大使 隨時代理大使 総領事 代理

陸軍次官代理の内話

第2118号 極秘 至急(ゆう先処理)

14日ウォード陸軍次官代理が本内に述べたところ次のとおりの趣。

1. ウォード次官代理はフレイマス補佐官と共に8月15日ころより訪日。スナイダー公使ていにしゆくはぐ。よく週末京都。万ばく見学の上オキナワに赴き約5日間滞在し。CINCPACO経由帰国する由。

2. 同次官代理は、(1)その後の日米間のやりとりについてはおおむね満足している。

(2)軍人がややもすれば交渉に臨む態度においてかたくなであり。しん重。保守的であることは米国のみに限らないと思う。(3)ドクガスは全く困った問題で。ジョンストン島調査団の報告には未だ接していないが。同島移送についても技術的になお相当の時日を要する。また、ガスの

(オキナワでの)発表を主張するグラーヴェル上院議員の

ほん意を求めるための説明を依然繼續している。(4) V

(5)海軍イギリスについては隆算指シタツケしない。

OMの問題は陸軍省としては開始したくない。(6) ラ

ンペート高等弁務官は本年末で2年つとめたこととなるが

外務省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主旨変更その他については検問班に連絡ありたい。

電信写

来年も引き続きつとめてもらいたいと思っている。(7) オキナワ基地の自衛隊によるかた替りのテンポがおそすぎることになりはしないかと心配している。はざれの悪いことは本土の基地の自衛隊移管(共同使用)の問題でも実証されているのではないかとけ念する。(8) リニウ政に対する経済援助の復活のみとおしは本年度はまことにくらいう旨を述べた。

3. 同次官代理は、オキナワの米軍基地はヴィエトナム戦後、韓国撤兵後ますます強化されるとの観測が日本的一部にあるようだが、米国としてはなんとしても経費を削減しなければならないので、基地は縮少過程にあっても強化拡大されることはない。一方日本側に米軍基地の解消論がおう行することは、たとえとおい将来のことであつても対米議会工作上非常にやりにくくなると心配する旨述べた。すなわち、累して日米安保体制がえい統的基礎の上にきずかれ、地位協定の円かつた運用を確保し得るかどうかが問題となる次第である。これまでの印象としては、日本の左よぐの動向だけを心配していれば良かつたが、オキナワ返かんについてはせん維交渉で印象づけられるとおり日本の新しい「ナショナリズム」のたい頭を心配しなければならないのではないかと述べた。(右に対して、木内より国内政治上の考慮からも種々の雑おんが入るが、日米安保体制の

外務省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。  
2. 本電の主旨変更その他については検問班に連絡ありたい。

電信写

確固たることは年末の総選挙で実証すみであり、また、小に病的「ナショナリズム」がおう行してもこれが支配的となることは太平洋戦争前はともかく、今日では不可能である旨しかるべき説明しておいた趣。)

(了)

外務省

外務省電信案 (分類)

機密表示(極秘・秘の朱印)		符号表示	略平	※ 総第 16 001 号
		※ 第 134 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 秒	4857
			大至急・至急 普通・LTF	45.7.16 14:36
(回覧番号) (印内は電伝記入)				
大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長		主管	アメリカ局長 参事官 北米第一課長	
			主管局部課(室)名 <b>アメリカ局北米第一課</b> 起案 昭和 45 年 7 月 15 日 起案者 安藤 447	
協議先				
大使 臨時代理大使 <b>在沖繩 高瀬</b> あて 愛知 大臣 発 総領事 代理				
大使 臨時代理大使 在報 総領事 代理 あて				
件名				
<b>米陸軍次官代理の内話</b>				
<b>未来電 第 2118 号 (總番号 34769) 乾電</b>				
(昭和四二・七一改正)				
GB-1				

漢

D組考用

寫  
濟

534